023677	動物の分類と実験	山内繁雄	言語	2	56	28
023678	人類の進化	山内繁雄	言語	2	56	28
023679	性と遺伝	山内繁雄	言語	2	56	28
023680	新制応用理科教授資料	山内繁雄	言語	2	56	28
023681	ユダヤ問題に当面する皇国日本と吾等の覚悟	渡部琢郎	言語	2	56	28
023682	支那事変に関する意見	高安亀次郎	言語	2	56	28
023683	非常時の認識と覚悟	高橋竜三	言語	2	56	28
023684	財閥の機構と支配網一覧表：金融経済研究所調査	杉並阿佐夫	言語	2	56	28
023685	大政翼賛会協力会議早わかり	小西利雄	言語	2	56	28
023686	仏印事情	田沢丈夫	言語	2	56	28
023687	対支国論統一：第二日清戦争を覚悟して支那を救へよ	石塚忠	言語	2	56	28
023688	教練の指針	森五六	言語	2	56	28
023689	教練の指針	森五六	言語	2	56	28
023690	その後の金貨引揚を曝く	水谷寛	言語	2	56	28
023691	日ソ不可侵条約の再吟味：満ソ非武装地帯設定の提唱	東輝彦	言語	2	56	28
023692	海軍に於ける航空糧食の研究	長妻篤皜	言語	2	56	28
023693	国家総動員法の本質とその運用	山之内二郎	言語	2	56	28
023694	満洲の移民村を訪ねて：昭和十二年八月一日一九月八日	足立茂藤英	言語	2	56	28
023695	亜米利加の旅	蜂谷経一	言語	2	56	28
023696	亜米利加の旅	蜂谷経一	言語	2	56	28
023697	戦争の問題	川村圭右	言語	2	56	28
023698	新興日本の経済闘士	宇野七石	言語	2	56	28
023699	結婚読本	川崎利太	言語	2	56	28
023700	不安定政局の前途	蒲生弘三	言語	2	56	28
023701	誰でもが喫む茶の発達史	片岡文一	言語	2	56	28
023702	日支事変解決には日本国民自から立つことを緊吃とす：支那の現状は共産農村国家を移行しつゝあり	江藤大吉	言語	2	56	28
023703	支那事変の世界史的意義	佐藤忠勝	言語	2	56	28
023704	学級形態の研究	三上秋良	言語	2	56	28
023705	法は人に因って貴し	松尾菊太郎	言語	2	56	28
023706	天皇機関説亡国論	竹田安次	言語	2	56	28
023707	政党の罪悪と議会制度の刷新：欽定憲法の精神に基く議会改革案	竹田安次	言語	2	56	28
023708	重臣ブロックの正体	村田清太郎	言語	2	56	28
023709	明年の軍縮会議	菅野秀雄	言語	2	56	28
023710	鉄道疑獄の大物は内田信也だけか？	角田新三郎	言語	2	56	28
023711	少年国民日本史	石川富士雄	言語	2	56	28
023712	熊本県玉名郡腹赤村郷土誌	岡村喜之	言語	2	56	28
023713	欧洲の風雲世界大戦は起るか？	村田和夫	言語	2	56	28
023714	床次竹二郎氏は何故政友会を脱党したか	篠塚保	言語	2	56	28
023715	国家之憂患	梶井盛	書	2	56	28
023716	改正無尽取引記帳法の研究	古谷敬二	言語	2	56	28
023717	常会の話	古谷敬二	言語	2	56	28
023718	極東赤化の現段階と中国共産党の動向	千葉山男	言語	2	56	28
023719	風雲日本の景気	安田竜太郎	言語	2	56	28
023720	日本・独逸・伊太利と国際聯盟	大友慎吾	言語	2	56	28
023721	秋葉大明神	岡田伊三郎	言語	2	56	28
023722	青年道場講義	高橋常吉	言語	2	56	28
023723	敵機来らば	高橋常吉	言語	2	56	28
023724	列国航空事情と防空	高橋常吉	言語	2	56	28
023725	警察読本	福田虎亀	言語	2	56	28
023726	帝国憲法	福田虎亀	言語	2	56	28
023727	昭和維新ト日本ノ針路	青柳長次郎	言語	2	56	28
023728	社会党の内幕：真相版	斑目栄二	言語	2	56	28